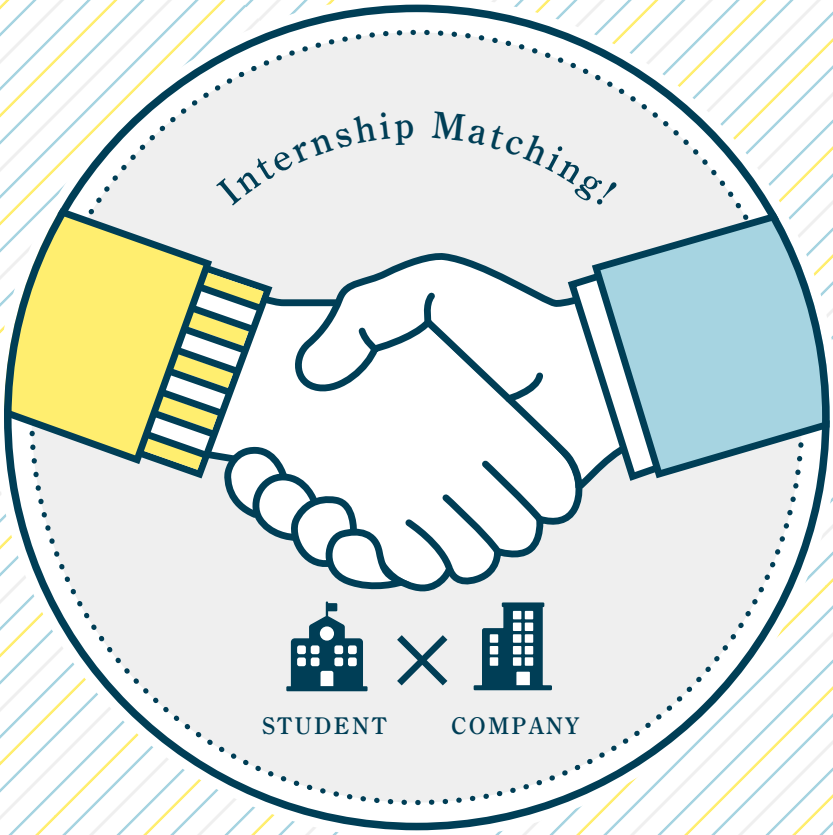


企業と学生をつなぐ

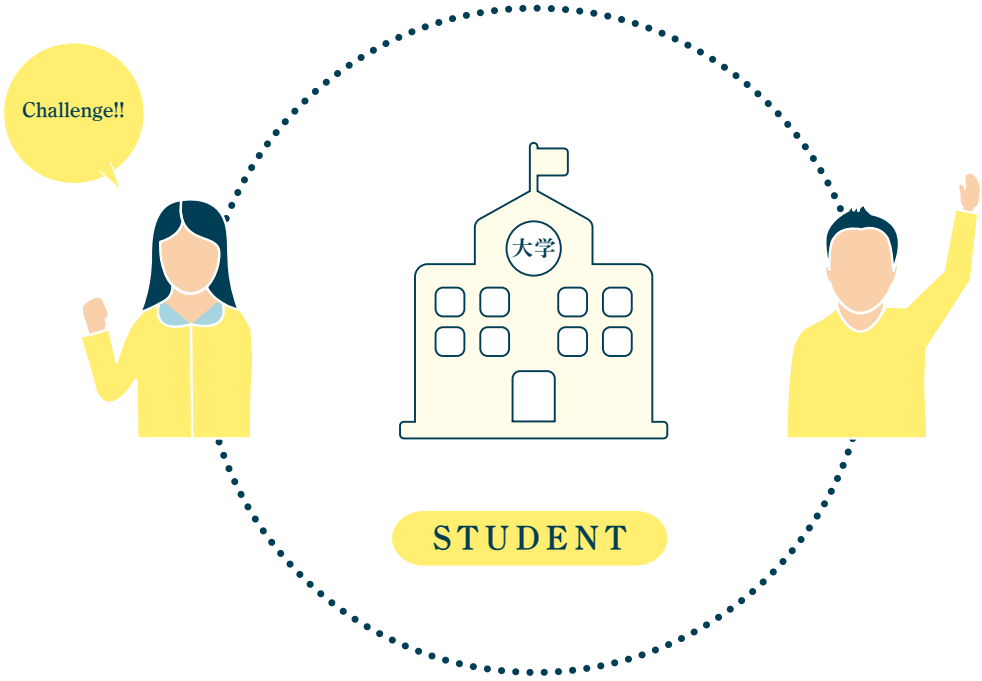
インターンシップガイド

東北インターンシップ推進コミュニティ

業界のこと、仕事のこと、

地域の会社のことを

知りたいという学生がいます。



インターンシップとは？

学生が企業に出向き、自分の専攻や将来のキャリアに関連する就業体験を行うインターンシップ。幅広い体験を通じて社会で必要とされる知識や能力、働くことに対する価値観や意欲を形づくり、学生を社会全体で育み地元企業との接点を広げます。それは企業にとっても、多くの学生と出会い、その魅力を理解してもらう貴重な機会。企業の将来につなげるために、インターンシップの受け入れを検討してみませんか。

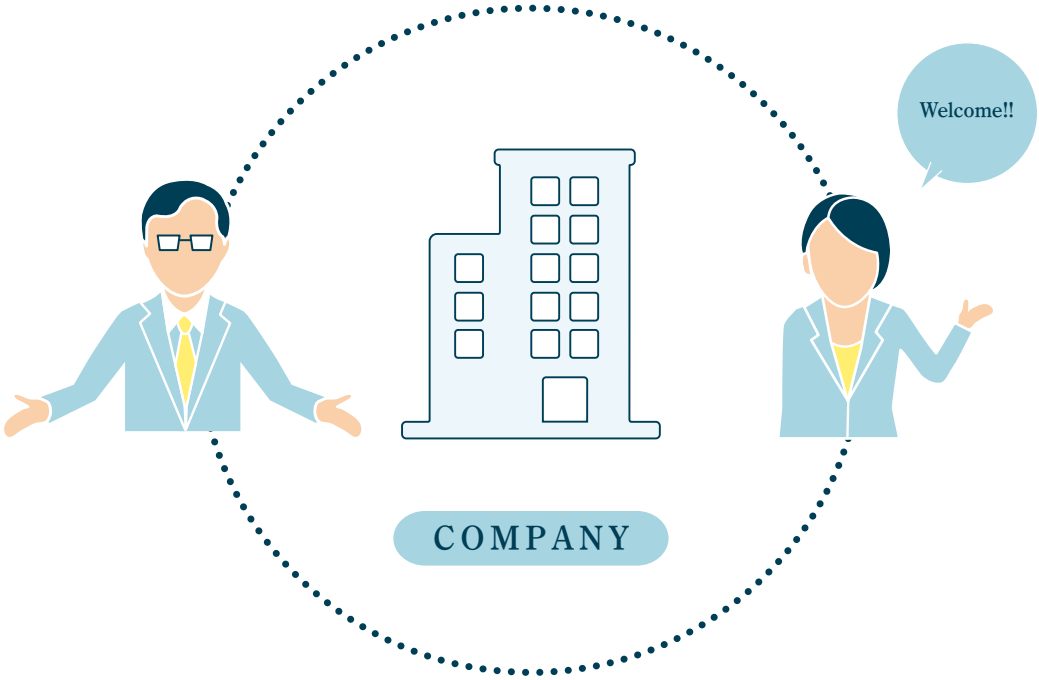
東北インターンシップ推進コミュニティについて

東北インターンシップ推進コミュニティは、文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」事業の採択を受け、東北地域内連携6大学と地域支援団体等によって2014年7月に発足しました。東北地域におけるインターンシップに携わるすべての人に意義のある機会として拡充していくことを目標にしています。

学生や大学とのつながりを、

若手の育成や自社の成長に

活かしたいという企業があります。



インターンシップのメリットとは？

❶ 学生の声を生かせる

会社にどのような印象をもったのか、学生の生の声から把握し、企業の採用戦略の参考にすることができます。また、大学との関係強化にもつながります。

❷ 会社を見直す機会に

インターンシップの受入準備や、学生へ企業理念・会社概要を説明するプロセスで、自社の組織や業務内容を見直す機会となります。

❸ 社内の活性化につながる

学生を受け入れることで、職場の意識や雰囲気が変わります。社員が自分の仕事を語る場を持つことで、仕事のやりがいに気づき、意欲の向上につながります。

❹ 育成体制づくりのきっかけに

どのような体制で、どのようなプログラムで会社の入り口を準備するのか。インターンシップの受け入れを考えることは、新入社員教育の体制づくりにもつながります。

Flow of Internship

インターンシップの実施の流れ

● 東北インターンシップ推進コミュニティ連携校でのインターンシップ実施スケジュール（例）

時　期	内 容　※各大学ごとにプロセス、時期が異なる場合がございます。
3月～4月	● 受け入れ体制・期間、受け入れ人数等のご検討
4月～6月	● 各地域の大学より受け入れのご依頼 ● インターンシップ受け入れのご回答（各大学よりご回答方法をご案内いたします。）
5月～6月	● 大学内で学生エントリー受付（企業様にて県外学生の受け入れが可能な場合、ポータルサイト「インターンシップ in 東北」にて企業・インターンシップ情報を公開し、東北地域内連携大学の学生がエントリー可能となります。）
6月	● マッチング（各担当大学の方法にて受入学生を決定します。）
6月～7月	● 誓約書、覚書など必要書類の取り交わし、学生の保険加入 ● 日程、プログラムの調整など
7月～9月（夏季休業期間を中心に）	● 指導、実施
9月～10月	● 事後総括（大学によっては、受け入れ企業様にアンケートや学生評価をお願いする場合がございます。）

県外学生の受け入れについて

本コミュニティでは、学生の出身地におけるインターンシップの参加と、U・Iターンの促進を支援しています。ポータルサイト「インターンシップ in 東北」に情報を公開することで、東北地域内に幅広く企業情報やインターンシップ情報を周知することができます（裏表紙参照）。これにより、広域での学生の受け入れが可能となり、他県の大学や学生との接点が広がります。

地域の連携大学の役割

連携大学である岩手県立大・盛岡大・山形大・桜の聖母短期大・会津大は、企業からの問い合わせ対応、調整、地域におけるインターンシップ関連の説明会や研修会の企画などを行います。

事前の学習と保険加入について

連携大学では、事前学習としてビジネスマナーや企業研究などの研修を実施し、学生を送り出します。また、不慮の事故に備え、保険加入も行います。その他ご要望等ありましたら、あらかじめご相談ください。

Examples of Internship

インターンシップ受け入れプログラム事例

● 受け入れプログラム事例 01

製造業（システム設計部門）

企業から提示された課題を通して、モノづくりマインドを体感する。

モノづくりの基礎知識や職場の現状を学生に伝えたうえで、実業務における課題を見つけるところからスタート。課題にもとづき、何が足りないか、どうすればよいかを考えさせながら、改善案を企画しプレゼンテーションを行うことで、学生自身の力がどのように現場で役立つかを認識したり、実際に製品製造だけが製造業ではないことを実体験を通して気づいてもらうことができる。

	午前	午後
1日目	□ オリエンテーション • 会社概要説明 • 工場案内	□ 実習 • 旋盤、仕上げ工程実習、金属製品の仕上げ加工、洗浄などの最終工程作業
2日目	□ モノづくりの基本研修 • モノづくりの考え方（安全衛生、品質、コスト、納期、改善） □ 実習 • 生産管理（生産指示、納期管理、生産管理システム）	□ オリエンテーション • 生産技術（CADの概要・簡単な図面作成） • 品質保証（品質に対する考え方、顧客からの要求事項等）
3日目	□ 営業研修 • 商品プロモーション • 受注までの流れとポイント	□ 営業同行 • 顧客のニーズを理解する
4日目	□ 課題の取り組み • 課題提示「業務ソフトウェアの改善企画書の制作」 ① 課題生成（やりにくい、見にくい、分かりにくい等の問題把握） ② 情報システム導入のための企画立案、要件定義 ③ 情報システム化による課題の解決	
5日目	□ 実習 • 業務ソフトウェア（在庫情報システム）の企画提案書作成	□ 成果発表・総括 • 企画提案書のプレゼンテーション ※システム部の社員が評価 • 研修レポート作成、実習内容のまとめ

● 受け入れプログラム事例 02

宿泊業、サービス業（ホテル）

準備から本番まで、舞台裏のスペシャリストと汗を流して仕事のやりがいに触れる。

実習最終日に開催されるイベントに向け、どんな人たちがどのような準備をして本番を迎えるのか、現場を体験しながら理解を深める。段階を踏んで実習を重ねることで、学生の達成度を測りながらすすめることができる。

	午前	午後
1日目	□ オリエンテーション • 会社概要の説明 • 企業理念の説明 • ホテル内の見学	□ 料飲サービスの基礎知識 • 心構えと基本動作の確認 • 宴会会場設営補助
2日目	□ 料飲サービス実習 STEP1 • 食器の準備作業（シルバー類の選定作業、グラス磨き）	□ 料飲サービス実習 STEP2 • 宴会会場のスタンバイ作業（食器、汁器などの準備） □ 料飲サービス実習 STEP3（現場実習） • 接客サポート
3日目	□ 料飲サービス実習 STEP3（現場実習） • 接客（宴会における飲料サービス）	□ 料飲サービス実習 STEP3（現場実習） • 接客（宴会における飲料サービス） • 後片付け
4日目	□ 料飲サービス実習 STEP3（現場実習） • 接客（宴会における飲料サービス、サーバーでの飲料提供業務）	□ 婚礼の基礎知識 • 婚礼営業、ブライダルアドバイザーからの婚礼について説明 • ブライダルイベント準備
5日目	□ イベント実習 • ブライダルイベント参加（お客様の目線で参加）	□ 総括 • 先輩社員との意見交換 • 振り返りまとめ

● 受け入れプログラム事例 03

小売業（百貨店）

**百貨店の裏側も体験しながら
各部門の連携など組織力を実感する。**

売場実習を通じて、販売のみならず様々な職種に接する。百貨店における各部門の連携や育成体制について体験をしながら理解を深める。

	午前	午後
1日目	□ オリエンテーション • 全体朝礼参加 • 会社概要（歴史、部署等）、百貨店の仕事とは • 社内ルールの確認	□ 売場基礎研修 • 接遇用語、接客の基本動作 • 会計補助、包装実習 ※配属部門発表、部門長からの説明
2日目	□ 売場実習［県産品売場：担当 売場リーダー］ • 開店準備、担当売場の朝礼参加 • 接客見学、会計補助 • 商品整理（商品説明）	□ 売場実習［県産品売場：担当 売場リーダー］ • 会計補助、包装実習、POP作成 • 用度品の準備補充、清掃、商品運搬 ※売場実習については習得状況に応じてステップアップ
3日目	□ 売場実習［寝具売場：担当 売場リーダー］ • 開店準備、担当売場の朝礼参加 • 接客、会計補助 • 商品補充、配送手配の仕方、値札作成	□ 催事会議見学［担当 催事部］ • 物産展会議見学 • 物産展チラシ発送補助
4日目	□ 外商について［担当 外商部］ • 外商部の仕事の理解 • 訪問準備見学	□ 催事会場準備［担当 催事部］ • 会場準備作業補助
5日目	□ 催事見学 • 開店準備、担当売場の朝礼参加 • イベントで実習（呼び込み、誘導補助）	□ まとめ • 店長講話（営業戦略、今後の百貨店の方向性） • 実習の振り返り、発表

企業にとって効果の高いプログラムにするには？

インターンシップを受け入れる目的や到達点を明確にし、プログラムに意識的に組み込むことで、効果が向上します。受け入れのために社内で検討することは、若手社員の採用や育成にもつながります。

目的	組み込み例
学生に仕事の魅力をもっと感じてほしい	• 様々な職種や年齢の社員と接点を持たせる • 営業に同行したり、実際に業務の一部を体験させる • 小さくても成果を実感させる
学生と接することで、社員の人材育成の意義やスキルを向上させたい	• 受け入れる部署ごとにプログラムを用意してもらう • 若手社員に現場のOJTや学生の世話役を任せる
学生がどのように自社の仕事について感じるのか知りたい	• インターンシップ前後の感想をヒアリングする • 課題を設定して、その解決のために必要な体験や社員との接点を用意し、発表させる

学生アンケートから見えるプログラムのポイント

「単調な作業でやりがいを感じられなかった」
→細かなルーティンワークの重要性をしっかり説明し、仕事の意義を理解させてください。

「課題に一日中取り組んでいたので、企業の人と話すことがなかった」
「担当者の説明だけだった。実際に職場で見学・体験してみたかった」
→社員と接触する機会も学生の成長につながります。短期間でも、実際の仕事の様子を見せたり、様々な職種・部署から話を聞くことは貴重な経験となります。

「企業からのフィードバックやアドバイスをもっともらいたかった」
→企業で実際に働く人とのやりとりを通じて、働くことのイメージや企業理解が深まります。

Interview

インターンシップ・インタビュー

インタビュー 01

受け入れ企業

株式会社 小林精機

［担当者］
企画情報室 室長 行方 学 氏

DATA
事業内容 / 精密機械部品製造、省力化機器設計製造
設立 / 昭和52年　所在地 / 岩手県滝沢市大釜風林3番地21

プログラムのポイント

- 製造業のモノづくりに対する考え方や意義を理解してもらう
- 学生の学びが産業界でどのように役立つかを知ってもらう
- 学生も企業も相互にメリットを得られるプログラムをつくる

私たちがプログラムづくりで重視したのは、製造業について理解を深め仕事に興味を持ってもらうこと。学生が勉強していることが産業界でどのように役立つかを知ってもらうことです。例えば、学生が「スマホで位置情報を正確に把握できるシステム」を研究しているとします。私たちは、その知識や技術をどう仕事に活かせるかを考えられますし、学生には現場で活用できる可能性について教えることができます。学生にも私たちにも相互の学びがある、そんなプログラムを目指しました。

インターンシップのメリット

- 学生の発想や行動、新鮮な驚きが、社員の刺激になる
- 指導する社員のスキルアップや成長につながる
- 学生の素朴な疑問が業務を見直すきっかけになる
- 採用基準を検討できる

受け入れにあたってプログラムづくりを考えることは、私たちの勉強にもなり、指導する社員の成長につながります。また、学生の資料をまとめる力や発表力は良い刺激になりますし、「これはなぜですか？」という学生の素朴な疑問は業務を見直すきっかけにもなります。客観的な立場の学生を受け入れることで、私たちが教えられることも多いですね。

参加学生

岩手県立大学・ソフトウェア情報学部3年次実施
村松 一矢 さん

インターンシップで学んだこと

- モノづくりだけではない、そこに関わる様々な仕事を知れたこと
- 企業の役割は何かを考えるきっかけを得たこと
- 顧客目線に立ってモノをつくることの難しさと組織力の重要性

インターンシップでは、企業の経営の仕方、技術職としてモノづくりに対する向上心、売るための営業・プレゼンの重要性や楽しさなど、たくさんのことを学びました。特に印象に残っているのが「企業の役割は、お金を稼ぐだけでなく、モノを創って得たお金で自己投資する事で成長し、社会に貢献できるサイクルの大きさをどんどん大きくしていくことなんだよ」という担当者の方の言葉です。実習中に私の作ったシステムを社員の方々に使ってもらったのですが、使用者目線に立ったシステム設計の難しさを実感し、その経験から、顧客の要望に応えていくためには、表には見えない企業の組織力も大切なのだと気づきました。今後は、自分が組織のどの部分で役立てるかという視点を意識して研究に取り組むとともに、将来の仕事を考えていきたいと思います。

インタビュー 02

受け入れ企業

株式会社アイ・タックル

［担当者］
常務取締役 山下 恭平 氏

DATA
事業内容 / OA機器販売、果樹・野菜の生産販売等
設立 / 平成12年　所在地 / 山形県天童市石鳥居一丁目4-41

プログラムのポイント

- 「何のためにするのか？」という仕事の意義を理解してもらう
- 仕事で一番大事な人と人との信頼関係に気づいてもらう
- 社風に触れさせ、会社で大事にしていることを感じてもらう

プログラムづくりで重視したのは、「何をするか？」といった作業手順だけではなく、「何のためにするのか？誰に喜んでもらいたいのか？」という仕事の意義や、仕事の先にあるお客様のことを考える大切さを教えることです。また、仕事以上に大事なことを理解させるために、朝礼などにも参加してもらい、元気な挨拶や返事の大切さ、人と人との信頼関係の大切さを伝えました。このように社風に触れてもらうことで、社会人として一番大事なことを学んでほしいと考えたからです。

インターンシップのメリット

- 学生の前向きな姿勢に触れることで、社員が初心に戻れる
- 教える側に回ることで、若手社員が成長できる
- 改めて仕事の意義や目的を、共有することができる
- 新卒採用時のシミュレーションができる

インターンシップを受け入れることで、社員が前向きな刺激をもらえますし、指導役の若手社員の成長にもつなげることができます。また、学生への指導を通して、改めて仕事の意義や目的を共有できることもメリットです。新卒採用をしていない企業にとって、インターンシップは良きシミュレーションの場。企業の魅力を学生に伝えることで、採用にもつながっていくと思います。

参加学生

山形大学・人文学部3年次実施
奥田 紫水 さん

インターンシップで学んだこと

- どんな小さな仕事にも役割や意義があること
- 挨拶をしっかりして、第一印象を大事にすること
- 小さな積み重ねが大きな成果につながること

インターンシップで一番やりがいを感じたのは、商品のラベル張りや梱包を通じ、仕事の意義を学んだこと。作業は単調で集中力を要する仕事でしたが、小さな仕事にも役割があり、お客様に反映される結果を予測し、最大限の努力を払うことの大切さを学びました。また、反省点として、初対面の方への挨拶が疎かになった時があり、挨拶一つで自分への第一印象が変わることを実感。小さなことでも、一つひとつの積み重ねが大きな成果につながるはず。一期一会の精神を大事にし、どんな時でも元気な挨拶や笑顔を心掛けたいです。インターンシップでは、自分の長所・短所が明確になり、新たな世界を知ることで物事を多角的に捉えられるようになりました。仕事に対する考え方も変わり、多くの面でプラスになったと思います。

インターンシップ IN 東北

Internship In TOHOKU

「インターンシップ in 東北」をご活用ください。

東北インターンシップ推進コミュニティでは、インターンシップ情報ポータルサイト「インターンシップ in 東北」をオープンしました。企業の皆さまが、インターンシップ情報を登録・公開することで、連携大学の学生のエントリーが可能になります。

企業エントリー機能

簡単なフォーム入力で企業情報・インターンシップ情報を登録・公開。企業の魅力を広く周知することができます。

学生エントリー機能

東北の連携大学の学生は、公開されている他県のインターンシップへもエントリーが可能に。県域を越えた企業と学生(大学)の接点が生まれます。

インターンシップ情報検索機能

学生がインターンシップを様々な条件で検索し、自分に合ったインターンシップ先を探すことができます。

その他、イベントや研修会など、インターンシップに関する情報をお知らせします。

情報登録の3ステップ

1 サイトアクセス

[URL] www.tohoku-is.jp

「インターンシップ 東北」で検索

2 情報入力

「企業エントリー用パスワード」を入力し、ログイン。フォームの項目にしたがって企業情報、インターンシップ募集要項を入力。この時点で別紙カリキュラムや条件等のご用意があれば、PDFファイルとしてアップロードが可能です。

3 情報公開

大学側にてご回答情報を確認後、サイトに公開されます。学生エントリーの受付を大学がとりまとめ、参加学生を決定します。

トップページ
条件を指定してインターンシップ情報を検索できます。

インターンシップ情報公開ページ
検索されたインターンシップ情報の詳細がご覧いただけます。

※画面イメージは開発中のものです

東北インターンシップ推進コミュニティ 連携大学連絡先 (2015年3月現在)

大 学	担当部署	連絡先
岩手県立大学	就職支援グループ	〒020-0693 岩手県滝沢市巣子152-52 ☎ 019-694-2020
岩手県立大学盛岡短期大学部		
盛岡大学	就職センター	〒020-0694 岩手県滝沢市砂込808番地 ☎ 019-688-0613
山形大学	就職支援室	〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12 ☎ 023-628-4128、4134、4129
桜の聖母短期大学	キャリア支援センター	〒960-8585 福島県福島市花園町3-6 ☎ 024-531-6804
会津大学	学生課学生支援係	〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀 ☎ 0242-37-2515

このパンフレットは、文部科学省事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組み拡大」の補助を受け制作されております。